

有限会社西田竹材工業所

平成 25 年度 補正予算事業

レーザー加工機導入による 新製品製造及び作業工程の効率化

現在、海外で製造している木製柄杓を国産品に替えたいなど、木材・竹等製品の需要があるが、どこかの製造業者も受注数、生産コスト、製造技術が厳しく、対応できていない。そこで、レーザー加工機を導入し、柄杓を含む木材・竹等の製品の安定生産に取り組む。



レーザー加工機

事業のきっかけや目的

Motivation

海外産の木材・竹等製品を国産品に替えたいという依頼が複数あるが、コスト面、生産能力面、技術面で困難な現状がある。レーザー加工機で型取りができれば生産効率の向上、品質の均一化ができ、商品管理もしやすく、同業者との差別化を図る意味でも良いチャンスとなり得る。そこでレーザー加工機を導入し、生産コスト削減、安定・大量生産を実現する。

事業の取り組み内容と成果

Progress

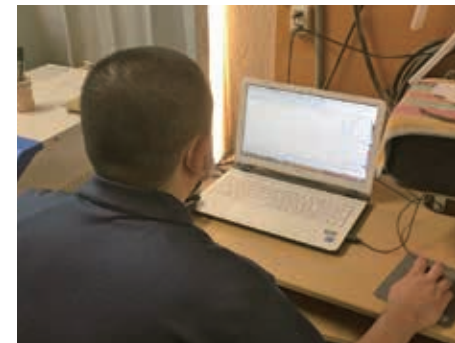
導入したレーザー加工機で柄杓を製造したところ、型取、切出加工が不要となった。面倒な工程を自動化でき、生産効率は30%向上して品質が安定し、大量生産にも対応することができた。生産コストは30%と大幅に削減され、価格的に海外製品と変わらないものを生産できた。これまで製造していなかったスプーン、マーキング加工など、新商品開発も容易になった。

有限会社西田竹材工業所の思い



近年、安価な海外商品から高品質の国産品へ切り替えたいとの要望が多くなってきています。

しかし、国内の製造業者は年々減少しており、需要に追いついていません。そこで生産体制の効率化を図り、高品質、短納期を実現し需要に応えていきたいと考えています。



データ作成



型取作業①



型取作業②

事業化に向けての今後の取り組み

Future

手作業で行っていた杓子などの型取作業をレーザー加工機で加工し、作業工程の効率化を行い作業レベルでバラツキがあった品質を安定させる。

また、マーキング加工商品など、提案型の営業による新規事業の開拓も合わせて進めたい。



企業の生い立ち

昭和20年、竹箸製造工場として創業、昭和43年に法人化し有限会社西田竹材工業所となる。

現在、鹿児島県産の地元の竹材を使用し竹箸、杓子など家庭用調理具などの定番品からお客様の需要に応じた竹製品、木製品の製造を幅広く行っている。



会社外観

事業者 有限会社西田竹材工業所
代表者 西田 強
設立年月日 昭和43年7月12日
所在地等 〒895-1817
薩摩郡さつま町湯田970
TEL 0996-55-9718
FAX 0996-55-9524
E-mail nishida@po4.synapse.ne.jp

事業の種類 ものづくり技術
資本金額 900万円
従業員 15名
業 種 木製品製造業